

BGALOG関係のリソースモニターの見方 P1 (概要)

BGALOG24時間経過使用中の通常の場合 →

この画面を作成し始めた状態が右です。(1回テルネットの再起動有りの状態)

ネットワークは当方のサーバーへどなたかがアクセスまたは、BGALOG(オレンジ色)などが自宅LAN内を含むネットへアクセス処理を行っているものと思われれます。

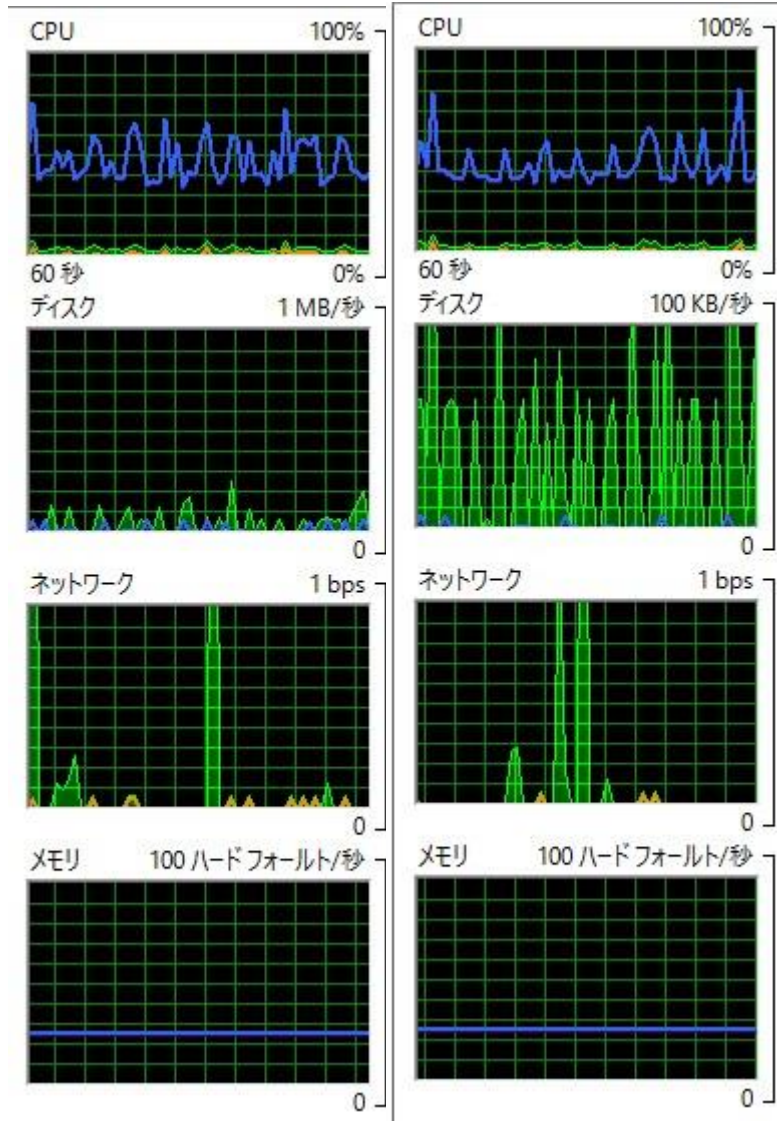
当方のシステム概要

WIN10PRO(64ビット)、CPU:i7-3820、クロック3.6GHz、
マザーボード:ASUS-P10PRO、メモリー(16GB)、
ドライブ:C(SSD)、D~G(HDD計3.5TB)、H回復ドライブ、
I~O(USB等)、P~Q(DVD)、X~Z(LANドライブ:計1.5TB)
USBポート:20ポート、冷却ファン:7機、
IIS(WWWサーバー)、POP3サーバ(メーリングリスト)動作
サーバー兼クライアントとして24時間起動

プロセス					
パフォーマンス アプリの履歴 スタートアップ ユーザー 詳細 サービス					
名前	状態	3% CPU	27% メモリ	0% ディスク	0% ネットワーク
アプリ (7)					
> BGALOG (32 bit) (3)		1.8%	363.0 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> FileVisor7		0%	13.7 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> Microsoft Outlook (32 bit)		0%	63.2 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> Microsoft PowerPoint (32 bit)		0.1%	25.5 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> アナログ時計DX(24時間版)アプリケ...		0.1%	1.6 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> タスク マネージャー		0%	14.2 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> リソースとパフォーマンス モニター		0.2%	44.8 MB	0 MB/秒	0 Mbps
バックグラウンド プロセス (59)					
> 3D Builder		0%	0.8 MB	0 MB/秒	0 Mbps
> Adobe Acrobat Update Service (...)		0%	0.6 MB	0 MB/秒	0 Mbps

平常時の場合

このパワーポイント作成開始時



ここを参考にしてください。

[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc749226\(v=ws.10\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc749226(v=ws.10).aspx)

リソースモニターの見方 P2 (CPU)

通常の場合のBGALOG

チェックしたプログラムが最上位に表示され、CPU ラベルには、BGALOGの使用率がオレンジ色で表示

アプリケーション インスタンスのプロセス ID

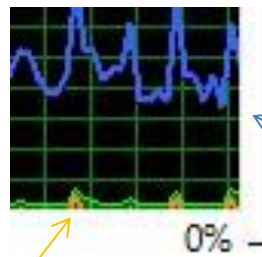
アプリケーションの名前

プロセス	PID	説明	状態	スレッド	CPU	平均 CPU
<input checked="" type="checkbox"/> イメージ						
<input checked="" type="checkbox"/> BGALOG.exe	20996	BGALOG	実行中	34	1	1.33
<input type="checkbox"/> perfmon.exe	19076	リソースとパフォーマンス モニター	実行中	17	1	1.13
<input type="checkbox"/> dwm.exe	580	デスクトップ ウィンドウ マネージャー	実行中	13	2	0.77
<input type="checkbox"/> システムの割り込み	-	遅延プロシージャ呼び出しと割り込みサービ	実行中	-	0	0.60
<input type="checkbox"/> Taskmgr.exe	19904	タスク マネージャー	実行中	16	0	0.44
<input type="checkbox"/> System	4	NT Kernel & System	実行中	248	1	0.32
<input type="checkbox"/> FV7.exe	19724	FileVisor7	実行中	18	0	0.17

アプリケーション インスタンスの現在アクティブなスレッド数

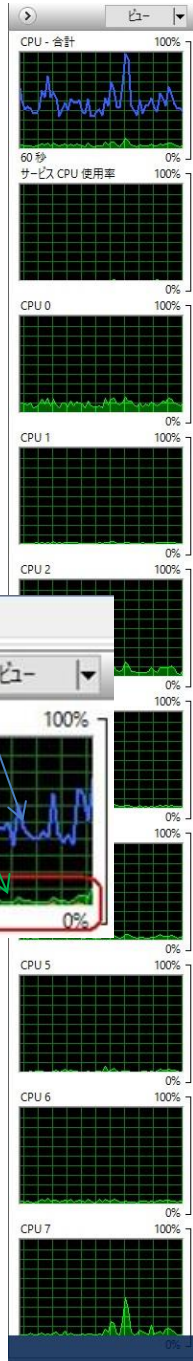
アプリケーション インスタンスの現在アクティブな CPU サイクル数

アプリケーション インスタンスによる最近 60 秒間の CPU の平均処理負荷。CPU の総処理能力に対する比率



(通常はフルスピードでは動作していません) CPU の最大周波数が青色で表示されます。

CPU 処理能力の現在の使用率の合計が緑色で表示



リソースモニターの見方 P3 (メモリー)

アプリケーション インスタンスで現在 1 分間に発生しているハード フォールト数。(ページ フォールト)
参照されるアドレスのページが物理メモリー内になく、スワップアウトされているとき、またはディスク上のバッキング ファイルから使用可能になるときに発生します。これは、エラーではありません。ただし、物理メモリーではなくディスクからデータを絶えず読み戻す必要がある場合、ハード フォールトの数が多くなることによって、アプリケーションの応答時間が長くなる可能性があります。

概要 CPU メモリ ディスク ネットワーク

現在の使用中メモリー

プロセス 物理メモリー 26% 使用

イメージ	PID	ハードフォールト/秒	コミット (KB)	ワーキングセット (KB)	共有可能 (KB)	プライベート (KB)
<input checked="" type="checkbox"/> BGALOG.exe	16908	0	484,148	530,548	161,452	369,096
<input type="checkbox"/> dwm.exe	580	0	233,224	181,756	75,468	106,288
<input type="checkbox"/> ApplicationFrameHost.exe	7332	0	232,280	146,800	51,348	95,452
<input type="checkbox"/> System	4	0	724	94,168	4,916	89,252
<input type="checkbox"/> OUTLOOK.EXE	7420	0	97,664	169,172	104,536	64,636
<input type="checkbox"/> explorer.exe	6004	0	95,172	328,680	265,640	63,040
<input type="checkbox"/> perfmon.exe	20080	0	47,112	68,012	22,932	45,080
<input type="checkbox"/> SearchIndexer.exe	14220	0	63,880	83,408	41,076	42,332
<input type="checkbox"/> k7rtsan.exe	4452	0	291,968	40,644	2,032	38,612

通常は発生しません
発生するとHDDを使用
しますので極端に遅くな
ります。
発生する場合は、メモ
リーの増設が必要です。

物理メモリー 4255 MB を使用中 11789 MB を使用可能

ハードウェア予約済み 58 MB
使用中 4255 MB
変更済み 281 MB
スタンバイ 4845 MB
空き 6944 MB

利用可能 11789 MB
キャッシュ済み 5127 MB
合計 16326 MB
インストール済み 16384 MB

使用物理メモリー 100%
60秒 0%
コミットチャージ 100%
ハードフォールト/秒 0%
100

[ワーキングセット (KB)] = [共有可能 (KB)] + [プライベート (KB)]

[ワーキングセット (KB)] : メモリーに現在常駐しているアプリケーション インスタンスのキロバイト数

[共有可能 (KB)] : BGALOG以外のアプリケーションで使用できる可能性のある、アプリケーション インスタンスのワーキングセットのキロバイト数

[プライベート (KB)] : BGALOGが専用で使用する、アプリケーション インスタンスのワーキングセットのキロバイト数

物理メモリー(当方16GB) = ハードウェア予約済み0.6G + 使用中4G + 変更済0.3G + スタンバイ4.8G + 空き7G

リソースモニターの見方 P4 (ディスク)

スピード : 読み書きの数値の大きいほど高速ですが状態により絶えず変化しますので比較は難しいです。



当方の各ディスクの使用方法

C: (SSD) サーバー関係を除くシステム、プログラム作成、プログラム実行

D: (ノートパソコンと共有) メーリングリストシステム & データ、WWWサーバー (JA5BGA、COMサーバー)、C: ドライブのフォルダーバックアップ及び作業予備フォルダー

E: WIN10 のシステムによる C: ドライブバックアップ (イメージバックアップ、履歴によるバックアップ)

F: バックアップ専用ツールによる C: ドライブのイメージバックアップ、D: ドライブのバックアップ

G: (ノートパソコンと共有) 各購入プログラムのソースバックアップ、C: ドライブの重要内容のバックアップ

H: (USB) 作成プログラムバックアップ

I: (USB) プログラム持ち出し用

J: 回復ドライブ (USB)

K: ~O: リムーバルディスク

L:、M: DVDドライブ

X: ゴミ箱 (バックアップのバックアップ)

Y: 家族内共有ドライブ

Z: 重要ファイルおよびプログラムの日付別バックアップ

各バックアップはバッチプログラムにより同期 (ロボコピー)、非同期 (Xコピー) により定期的 (一部スケジュール化) に保存

リソースモニターの見方 P5 (ネットワーク)

チェックを入れておきます。

フィルタ-条件: BGALOG.exe

イメージ	PID	アドレス
BGALOG.exe	16908	mx1.dxscape.com
BGALOG.exe	16908	219.106.227.16

ネットワーク活動欄

上段:テルネットアドレス(常時接続)
下段:DXスケープwwwからの取得時

概要 CPU メモリ ディスク ネットワーク

ネットワーク活動のプロセス

イメージ	PID	送信 (バイト/秒)	受信 (バイト/秒)	合計 (バイト/秒)
<input checked="" type="checkbox"/> BGALOG.exe	16908	0	3	3
<input type="checkbox"/> svchost.exe (LocalServicePeer...)	2120	106	106	212
<input type="checkbox"/> svchost.exe (NetworkService)	732	3	35	39

プログラム認識のid番号

ネットワーク活動

フィルタ-条件: BGALOG.exe

イメージ	PID	アドレス	送信 (バイト/秒)	受信 (バイト/秒)	合計 (バイト/秒)
BGALOG.exe	16908	219.106.227.16	0	3	3

TCP 接続

フィルタ-条件: BGALOG.exe

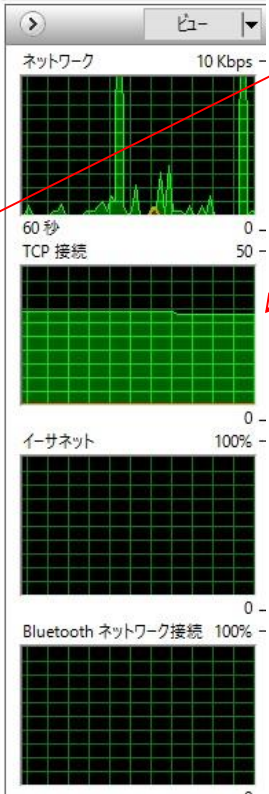
イメージ	PID	ローカル アドレス	ローカル ポート	リモート アドレス	リモート ポート	パケット損失 (%)	滞在期間 (ミリ秒)
BGALOG.exe	16908	192.168.24.3	59750	219.106.227.16	8000	0	-

リスン ポート

フィルタ-条件: BGALOG.exe

イメージ	PID	アドレス	ポート	プロトコル	ファイアウォールの...
BGALOG.exe	16908	IPv4 ループバック	59418	TCP	許可、制限なし

テルネット接続時
常時接続でリモートアドレスをコントロールしていますのでネットワークは切断されません。
219.106.227.16(ポート8000)=DXスケープサーバー接続時



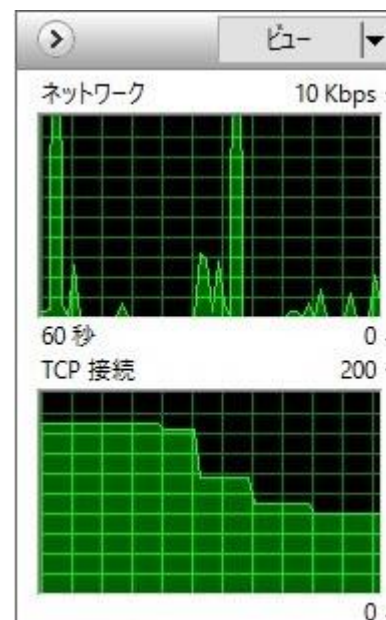
ネットワーク(テルネットとWWW(html)のイメージ いずれもTCP接続です。

テルネット接続はサーバーとクライアントの関係で常時接続して相手をリモート接続してコントロールして利用します。(sh/dx/100, sh/c, sh/wwwなどのコマンドを使います。例: Dx 10 105.1 jd1ybt cqca op *** qsl 等)
通常相手の指定するポート8000を使用し、接続には、パスワード等が必要になります。
したがって一度切断されると接続の再手続きが必要です。

WWW(HTTP)接続は相手のサーバー(通常80番ポート)へ接続の都度HTML言語で書かれたプログラムをダウンロードしてそこに書かれた内容をIEやedge等で実行します。
再接続もそこに書かれた時間で接続するのであたかも常時接続の様に見えますが、その都度回線は切断されています。
大きな違いは、どちらにもコントロール権が有るかが異なります。
テルネットはクライアント側で常時接続、**WWW**は相手側でその都度接続

www取得直後の状態

wwwは自分のパソコンからその都度接続します。(終了すると切断します。切断後テルネット回線のみ接続状態となります。)



BGALOG問題発生時 P6

これは故意にTESTとして発生させたもので通常の使用方法では発生しないと思います。

次が表示されるようになります。(動作管理のために表示させているものでエラーではありません。)
「★ 最終データ時間トップデータ(テスト処理確認用) i=886 現時間=15/09/20 18:35 最新データ時間=・・・以下省略

エラーを発生させた後、システムの再起動なくBGALOGのみの再起動後、何度かテルネットを再起動したのち、このマニュアルを作成し始めて1日以上経過しています。
24時間経過中に1度テルネットの自動再起動が有りましたが、問題は未発生で現在も正常に動作をしています。

問題発生時の状況です。

発生するのはテルネット画面を強制的に手動で繰り返して「開始⇄終了」を行っているとなら発生することを当方でも確認しました。(システムの動作が急に重くなります。)
その時の状況です。

スレッド数、CPU使用率、平均CPUが極端に大きくなっています。現在、この原因はつかめていません。

この場合は、BGALOGを再起動が必要になってきます。

CPUクロックが、100%でフル稼働しています。何かの拍子で途中で正常に戻ったりします。プログラム上の問題でないために当方ではお手上げの状況となっています。

パソコンのシステム全体がハングアップしたのではないかと感じるくらい極端に遅く感じる様になります。

もしこの現象と思われたときはBGALOGの再起動をお願いします。(再起動で正常に戻りますが、それでも遅い場合は他のシステムの問題としますのでその場合はシステムの再起動が必要と思われます。)

よろしくお願ひします。

追記

このエラーはテルネット画面のルーチンでテルネットを使用していないにもかかわらず発生しています。当方が思うところは正常にメモリーの解放が出来ていないのではと思います。(マイクロソフトの改善を期待、・・・?)

